

§ 電気双極子とその性質 filename=electric-dipole050531.tex

§1 定義

2つの点電荷の組 $(+q, -q)$ が、 $-q$ から $+q$ への相対位置ベクトル ℓ により定義されているときに、これを電気双極子 (electric dipole) という。そして

$$q\ell \equiv p \quad (1)$$

により定義されている p を電気双極子モーメント (ベクトル) という。

§2 電気双極子のつくる電界

後日追加予定

§3 外部電場の中の電気双極子

(1) 電荷 $(-q)$ が点 (x, y, z) に $+q$ が $(x + dx, y + dy, z + dz)$ に置かれているとする。それぞれの点における電位をそれぞれ $\phi(x, y, z), \phi(x + dx, y + dy, z + dz)$ とすると、この電気双極子の持つ電氣的ポテンシャル・エネルギー U は

$$U = q \cdot \phi(x + dx, y + dy, z + dz) + (-q)\phi(x, y, z) \quad (2)$$

となる。ここで、テーラー展開より

$$\begin{aligned} \phi(x + dx, y + dy, z + dz) - \phi(x, y, z) \\ \simeq \frac{\partial \phi}{\partial x} dx + \frac{\partial \phi}{\partial y} dy + \frac{\partial \phi}{\partial z} dz \end{aligned} \quad (3)$$

となる。ここで、電気双極子モーメントの成分が $p_x = qdx, p_y = qdy, p_z = qdz$ と表わされ、電場 $E = -\nabla\phi$ であることを用いると

$$U = -\mathbf{p} \cdot \mathbf{E} \quad (4)$$

が得られる。

(2) 空間的に一様な電場 (均一電場) の中の電気双極子の受ける力のモーメント (トルク)

力のモーメントの大きさを N とすると右図より

$$N = qE \times \ell \sin\theta = pE \sin\theta \quad (5)$$

ベクトル ℓ から E の向きに右ネジを回すときのネジの向きに注意すると考慮して、ベクトルで表すと

$$\mathbf{N} = \mathbf{p} \times \mathbf{E} \quad (6)$$

となる。すなわち、偶力となり、電気双極子の重心を移動させるのではなく、回転させる効果を持つ。また一般に

$$\begin{aligned} \mathbf{N} &= (\mathbf{r} + \boldsymbol{\ell}) \times (q\mathbf{E}) + \mathbf{r} \times (-q\mathbf{E}) \\ &= q\boldsymbol{\ell} \times \mathbf{E} \\ &= \mathbf{p} \times \mathbf{E} \end{aligned} \quad (7)$$

となる。

(3) 空間的に変化する電場 $\mathbf{E}(\mathbf{r})$ (不均一電場) の中の電気双極子には、上の偶力に加えて重心の並進をおこす並進力も働く。

ポテンシャル・エネルギーの議論と同様にして電気双極子に働く力の合力 \mathbf{F} は

$$\mathbf{F} = q\mathbf{E}(x + dx, y + dy, z + dz) + (-q)\mathbf{E}(x, y, z) \quad (8)$$

となる。ここで、テーラー展開を3次元ベクトル \mathbf{E} に対して用いて

$$\mathbf{E}(x + dx, y + dy, z + dz) - \mathbf{E}(x, y, z) \approx dx \frac{\partial \mathbf{E}}{\partial x} + dy \frac{\partial \mathbf{E}}{\partial y} + dz \frac{\partial \mathbf{E}}{\partial z} \quad (9)$$

が得られる。よって

$$\begin{aligned} \mathbf{F} &= q dx \frac{\partial \mathbf{E}}{\partial x} + q dy \frac{\partial \mathbf{E}}{\partial y} + q dz \frac{\partial \mathbf{E}}{\partial z} \\ &= \left(p_x \frac{\partial}{\partial x} + p_y \frac{\partial}{\partial y} + p_z \frac{\partial}{\partial z} \right) \mathbf{E} \\ &= (\mathbf{p} \cdot \nabla) \mathbf{E} \end{aligned} \quad (10)$$

となる。

